

○ワークショップ「都市の OR」

開催責任者 理工学部 三浦英俊

2016年12月10日

12月11日

南山大学名古屋キャンパス R棟 R49



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

研究目標：国際的な OR 研究交流による OR 手法の開発

Prof. Francisco Saldanha da Gama : The stochastic uncapacitated r-allocation p-hub median problem: modeling framework and heuristic solutions

Prof. Richard Church : Integrating GIS, cyber search, and spatial optimization: estimating spatial efficiencies of urban public services ほか、全部で 38 件

(プログラム詳細は、<http://www.ms.nanzan-u.ac.jp/uor/2016/schedule.html> を参照)

◇ワークショップの討論内容

英語による研究発表が招待講演以外に 7 つあり、日本語による発表 33 と合わせて 40 件の発表がなされた。英語による研究発表をもとに活発な議論が展開され、新たな問題提起

と手法開発への萌芽を得ることができた。

◇研究成果発表

三浦英俊・神宮司和樹、「線分モデルを用いた鉄道路線の最適配置」、日本オペレーションズ・リサーチ学会 2016 年春季研究発表会 アブストラクト集(慶應義塾大学)、2016 年 3 月。